

佐世保市内の公共交通の課題

1. バス路線の競合

2事業者とも赤字路線が増大する中、その維持のために市に補助を求められている状況がある。

2. 松浦鉄道とバスの役割分担の整理

平成24年度に行った松浦鉄道自治体連絡協議会による「松浦鉄道沿線地域の交通のあり方に関する調査」の中では、沿線地域全体として、松浦鉄道の役割、必要性を整理し、平成26年度からの10年間の施設整備計画の支援を決定したところであるが、5年を目途に支援の内容を見直すこととしている。佐世保市でいうと、松浦鉄道のサービス享受地域は市内の約3割程度であることから、市内を限定した場合の松浦鉄道とバスの役割分担の整理を今一度行ったうえで、平成31年度からの後期支援内容を決定することが必要となる。

3. 地域の一部として点在する交通不便地区対策について

支所管内に多くの公共交通の利用が不便な地域が存在する場合は、デマンドタクシーの導入を推進しているところであるが、地域の一部のみ交通不便地区が存在する場合の対策には至っていない。その一部の中には、日宇町～黒髪町地区や陣の内地区等、人口集積があるところで道幅が狭いため大型バス路線がないところも存在している。それらの対策には未着手である。

4. 国内外の観光客を含む、地域外からの来訪者対策について

現在、本市では、国際航路開設や国による観光圏指定もあり、HTB等市内リゾート施設への国内外からの観光客の増加が見込まれる。さらにIR誘致も実現すると、ますます誘客増が見込まれ、その移動手段としての公共交通が担う役割が大きくなっていく。観光等での果たす役割についての議論はまだ十分なされていない状況があり、まちづくりと一体となったその役割の検証が必要である。



佐世保市内の公共交通網の再構築が必要になっている。

⇒⇒佐世保市が中心となり、交通事業者とともに、その青写真になる計画を地域一体となって策定し、計画の推進を行っていく必要がある。

●佐世保市地域公共交通網形成計画とは？

まちづくりとの連携の視点を持ち、持続可能な交通ネットワークの形成を目指す計画（基本方針、目標、行う事業等を定める）

●地域公共交通再編実施計画とは？

上記計画に基づいて、必要となる交通サービスの内容（競合バス路線の解消が最大の目的）や役割分担等を定める。

国は「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」及び「地域公共交通確保維持改善事業費補助要綱」を今年度、改正しており、競合バス路線の解消を推進しようとしている。（施行は11月を想定）

*上記計画の策定のための調査費用等が2,000万円の上限で国の補助を受けられる。（事業費の100%を補助）

*計画を推進するための規制緩和等（路線変更や運賃変更に関し認可から届出制に、計画を阻害する新規参入等の制限等）がある。